

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

2018年7月～9月期

第90回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - (1)前期比 前期比(平成30年4月～6月比)
  - (2)前年同期比 前年同期比(平成29年7月～9月比)
  - (3)来期見通し 来期見通し(平成30年10月～12月見通し)
5. 業種別の景気動向
  - (1)製造業
  - (2)建設業
  - (3)卸売業
  - (4)小売業
  - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1)回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	120社
回答率	24.0%

### (業種別)

製造業	30社
建設業	20社
卸売業	10社
小売業	26社
サービス業	34社
合計	120社

## (2)実施時期

2018年7月～9月期

## (3)調査内容

調査対象の第2四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4)調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5)調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

## 2. 調査結果(DI)

DIとは(景況判断指数)とは

DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味します。

売上DI = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算DI = (好転 " ) - (悪化 " )

資金繰りDI = (好転 " ) - (悪化 " )

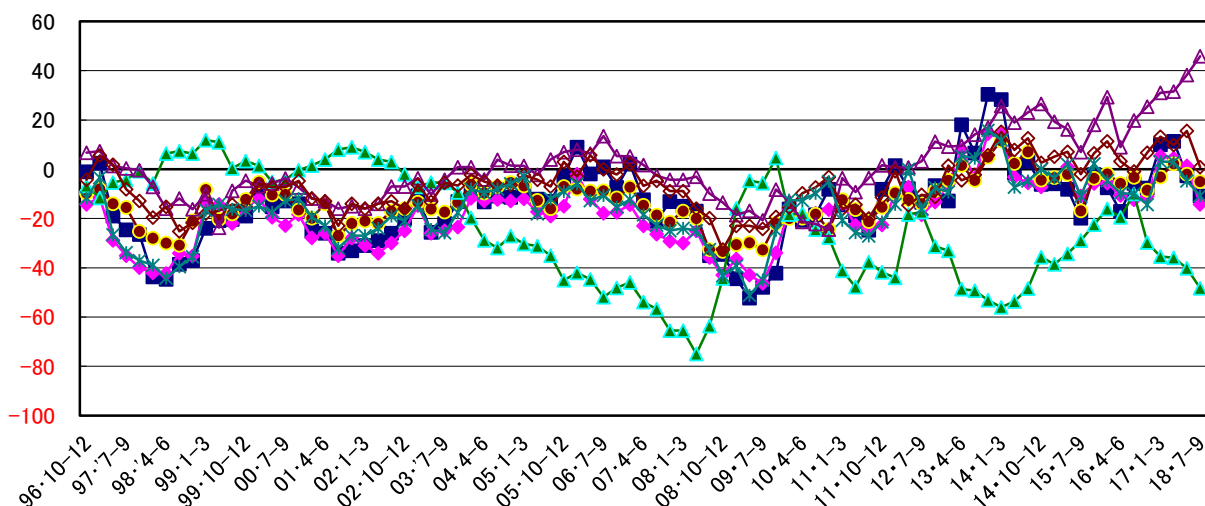
仕入価格DI = (下落 " ) - (上昇 " )

雇用状況DI = (不足 " ) - (過剰 " )

設備投資DI = (拡大 " ) - (減少 " )

業況DI = (好転 " ) - (悪化 " )

前年同期比(全企業DIの推移)



		13-7-9	13-10-12	14-1-3	14-4-6	14-7-9	14-10-12	15-1-3	15-4-6	15-7-9	15-10-12	16-1-3	16-4-6	16-7-9	16-10-12	17-1-3	17-4-6	18-4-6	18-7-9
■	売上	6.6	30.4	28.3	-1.6	3.2	-6.1	-5.9	-8.1	-19.8	-2.2	-7.5	-17.1	-5.8	-7.6	10.0	11.4	-2.7	-10.9
◆	採算	-3.7	14.5	14.2	-3.2	-5.5	-7.1	-3.4	1.0	-10.9	-5.8	-5.6	-10.6	-12.4	-11.0	5.4	4.5	1.3	-14.2
●	資金繰り	-4.4	5.0	11.6	2.4	7.1	-4.4	-3.4	-2.0	-16.8	-3.6	-1.9	-5.7	-3.3	-8.5	-3.1	2.3	-2.0	-5.0
▲	仕入価格	-49.3	-53.2	-56.0	-53.6	-48.4	-35.7	-38.5	-34.3	-29.0	-22.5	-16.0	-19.5	-10.0	-29.7	-35.4	-35.9	-40.1	-48.3
△	雇用状況	14.1	17.0	25.7	18.9	23.0	26.6	19.3	16.2	6.9	18.1	29.3	8.9	19.8	25.4	31.0	31.6	38.3	45.8
◇	設備投資	-2.2	5.7	15.2	7.9	12.6	2.7	5.0	7.1	-2.0	6.5	11.3	3.3	-0.8	6.8	13.2	9.9	15.5	0.8
*	業況	4.5	15.8	11.8	-7.2	-4.8	0.0	-3.5	2.0	-11.0	2.2	-4.7	-9.8	-10.0	-14.4	3.1	3.0	-4.8	-10.8

### 3. 概況

#### 自然災害による景況の悪化と上昇止まない仕入価格

##### (1) 今期の特徴

今期の特徴は、前期比・前年同期比とも数値が悪化している。

そして、「人手不足」による悪影響が多くの業種で出ていることが分かった。

業種別では、建設業・サービス業で「人手不足」が問題となっており、残りの業種は「仕入価格上昇」が大きな問題となっている。

前年比では、卸売業とサービス業の売上DIはプラスであり、残りの業種はマイナスであった。

前年同期比では、全業種で売上DIがマイナスであり、「人手不足」、「仕入価格高騰」等の回答が多くみられた。

##### (2) 来期の見通し

来期見通しの数値は、全体でみると売上、採算、業況DI値の改善をみせている。

また、業種別にみると、製造業と小売業の売上DIはプラスであり、建設業とサービス業の売上DIはマイナス、卸売業はプラスマイナスゼロであった。

しかし、人手不足による請負断念や仕入・燃料等価格の高騰などの影響を懸念する回答もある。

一方、年末による消費拡大を期待した、売上増加、収益の確保を期待する事業所が多くある。

##### (3) 経営上の問題点

1位「従業員の不足」、2位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、3位「需要の停滞」という結果になった。前回(4~6月)の調査と同様の結果となった。

各業種でみていくと、特に建設業では1、2位の項目が従業員の不足に関する項目となっており、サービス業では1位が「需要の停滞」から「従業員の不足」に変化していた。

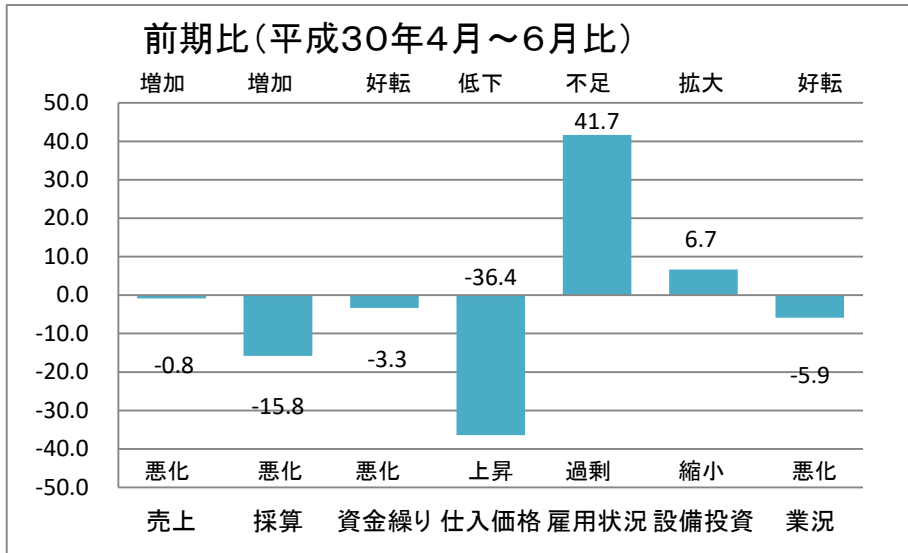
「従業員の不足」が全業種で問題であり、影響を懸念される。

##### (4) 今後の対応策

1位「新規市場を開拓したい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「その他の合理化を実施したい」という結果になった。

前回調査と比べると、2位の項目が「生産性を向上したい」かた「従業員を新規雇用した」に変わっており、従業員不足が急速に進んでいるのではないかと考えられる。

#### 4. 県内の景気動向(全業種)

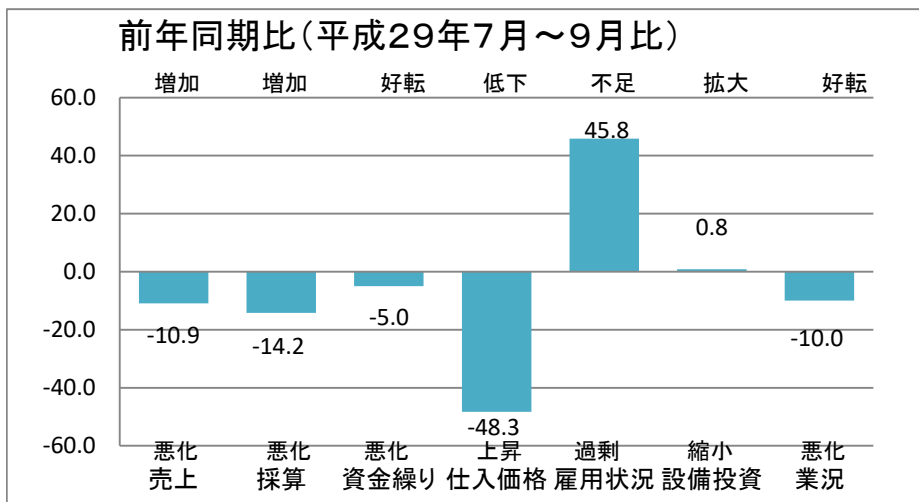


全体として、問題点でも上がっているように雇用状況DI値が悪化している。

人手不足が現状の喫緊の課題となっている。

全体とし、数値が悪化している。

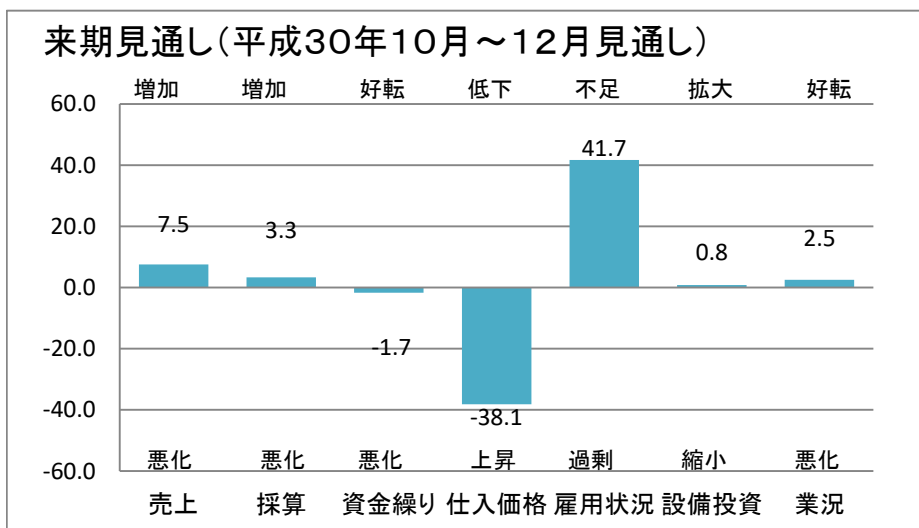
また、仕入価格においても、マイナス36ポイントと示した。業種を問わず、全ての業界において仕入価格の上昇が続いている様子である。



前年同期比をみると、人手不足、仕入価格高騰が顕著悪化がみられ、昨年よりも厳しい経営環境となっている様子である。

そのうえ、天候不良や災害の為、需要の落ち込みや流通に影響がでたことも数値悪化の要因ではないかと考えられる。

一方、そのような中でも、安定した需要により好転を上げる事業所も出てきている。

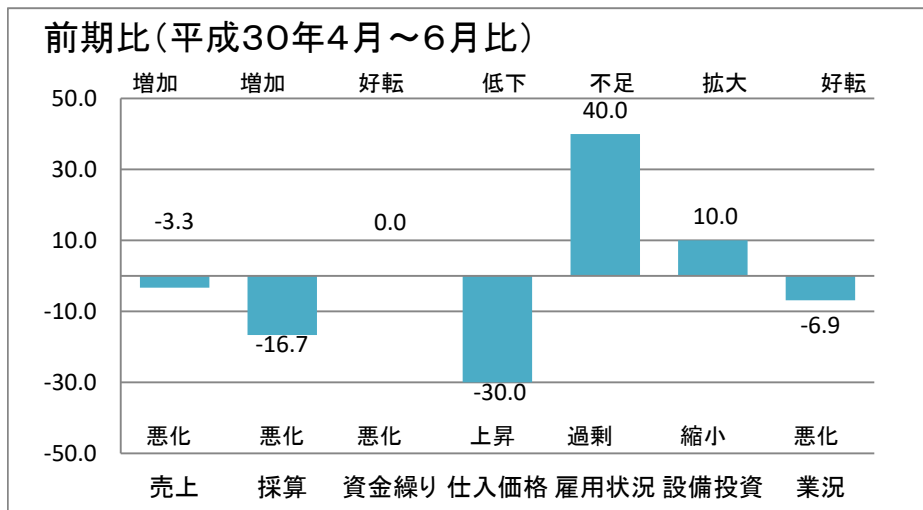


売上、採算、業況DI値は改善をみせており、年末となる来期においては、多くの事業所にとって繁忙期・増販期による売上増等の回答がある。

しかし、人手不足による請負断念や仕入・燃料等価格の高騰などの影響を懸念する回答もあり、業況の大幅な好転は難しく、収益の確保が困難な状況が継続する様子である。

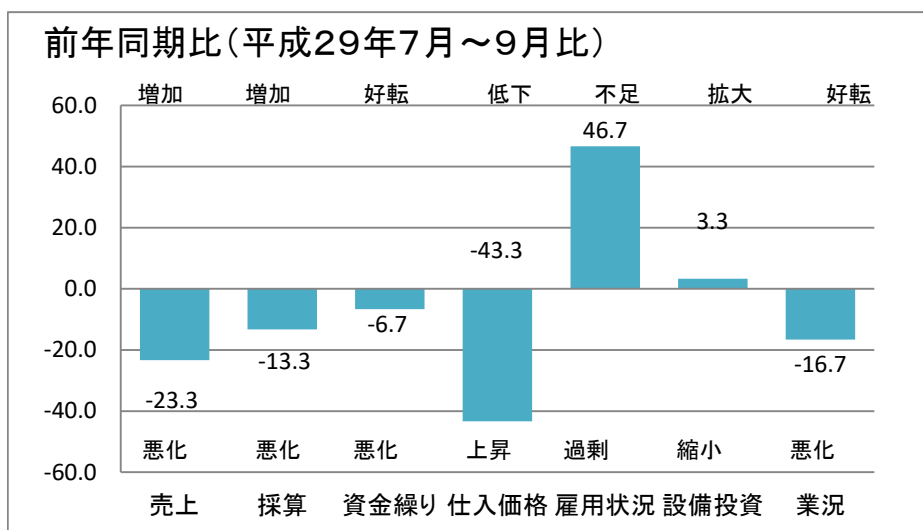
## 5. 業種別の景気動向

### (1) 製造業



前期比のDI値を見ると、設備投資において10ポイントのプラスを示したが、全体を通してみると、仕入価格の上昇や人材不測の影響が厳しい経営状況が見て取れる。

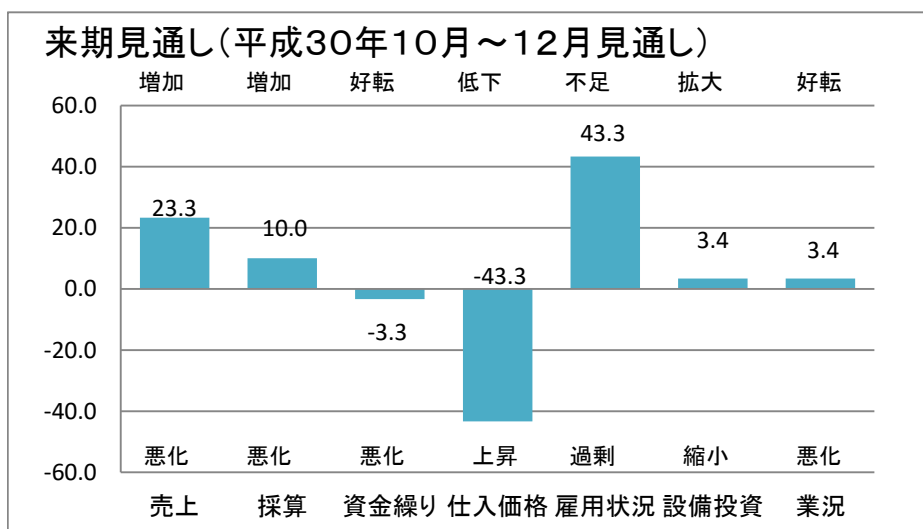
製造業は、天候の影響を受ける業種であり、回答の中でも、梅雨や台風等の天候不良を要因とした影響による数値悪化が理由として挙げられていた。



前年同期比の結果を見ると、売上DI(△23.3)と業況DI(△16.7)より、今期の厳しい状況が伺える。

個別の状況では、海外から安価な製品の流入や仕入価格の情報など、全体の数値悪化の原因が回答でもみられた。

売上が前年並みでも、仕入や経費の価格が上昇しており、採算の悪化など影響がでている。



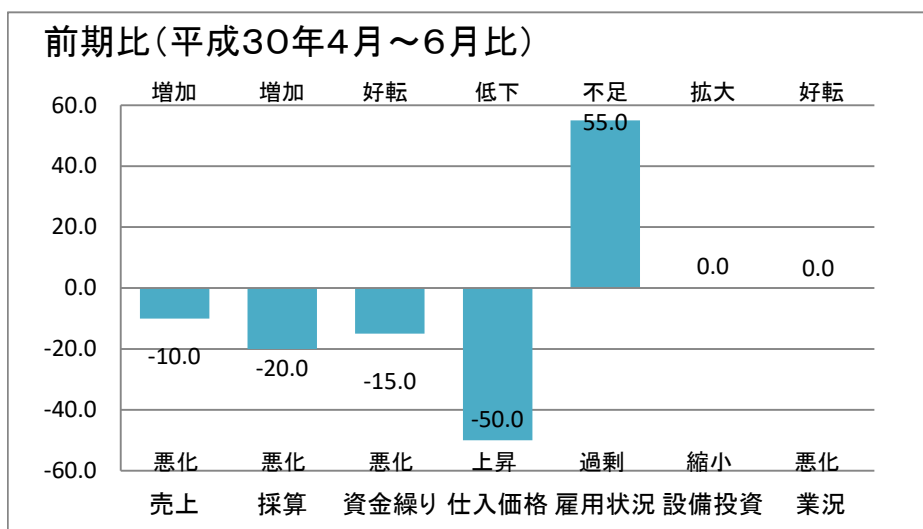
来期見通しにおいては、年末の需要増加を予想する事業所が多く、売上DI、採算DI、業況DIともにプラス拡大を示した。

しかし、プラスを示す項目が多いものの、20%以下を示し、大幅な業況の好転とは呼びづらい状況である。

回答では、製造業全体として、燃料価格高騰・上昇という文字が多くみられ、資金繰りや業況好転の数値がのびなかった原因と考えられる。

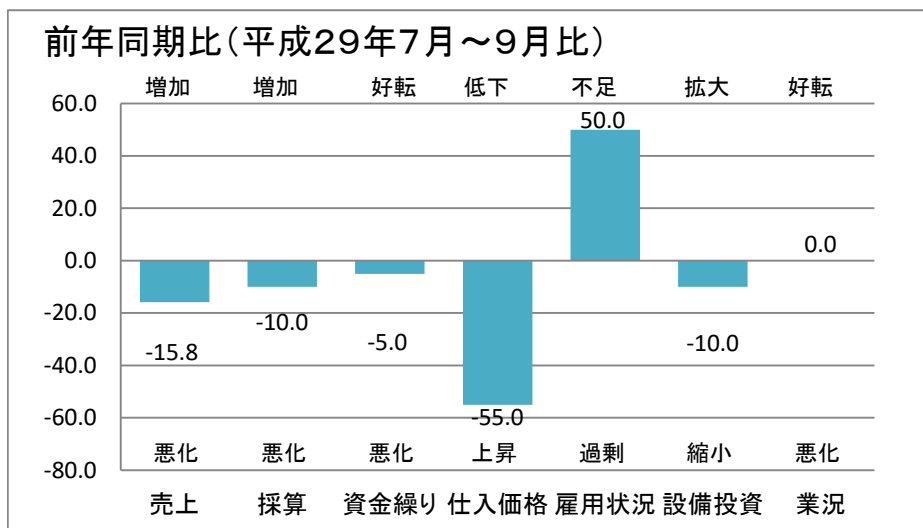
## 5. 業種別の景気動向

### (2) 建設業



前期比DIを見ると、売上の悪化と仕入価格の上昇の影響か、採算DIが20ポイントのマイナスを示し、資金繰りの悪化も招く形となった。

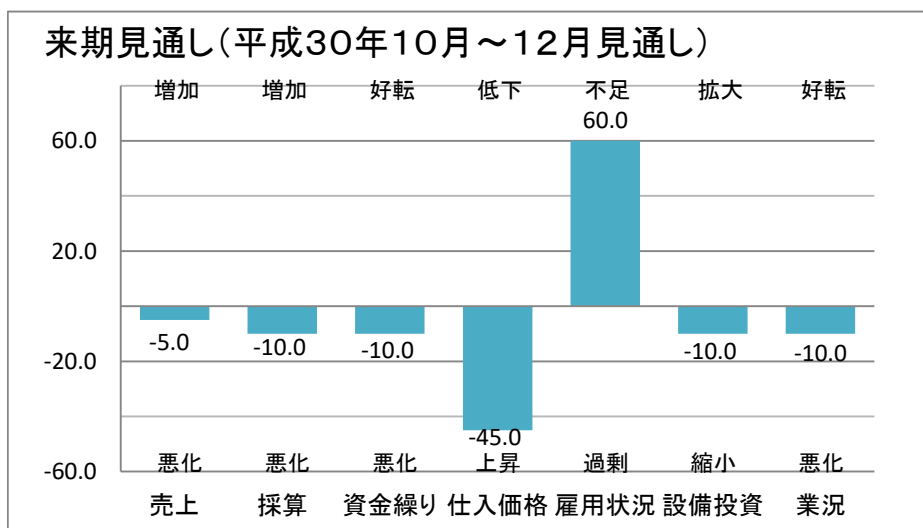
多くの回答のなかで人手不足という文字を多くみられ、工事等の発注に対する人員確保が困難なため、受注することができず、収益を上げられない状況となり、その影響で全体の数値が悪化している。



今期においては、仕入価格が昨年よりも上昇しており、売上においても悪化を示す推移となった。業況自体は変動がないものの、事業所の置かれる現況は、採算の悪化等厳しい状況の様子である。

回答としては、受注が増加しているという回答が多いが、利益として反映されていないとのこと。

人手不足に加え、労働者の高齢化も悪化理由として挙げられている。



来期において、他の業種では年末の需要を期待する事業所が多くあるものの、建設業においては、軒並みマイナス拡大を示す結果となった。

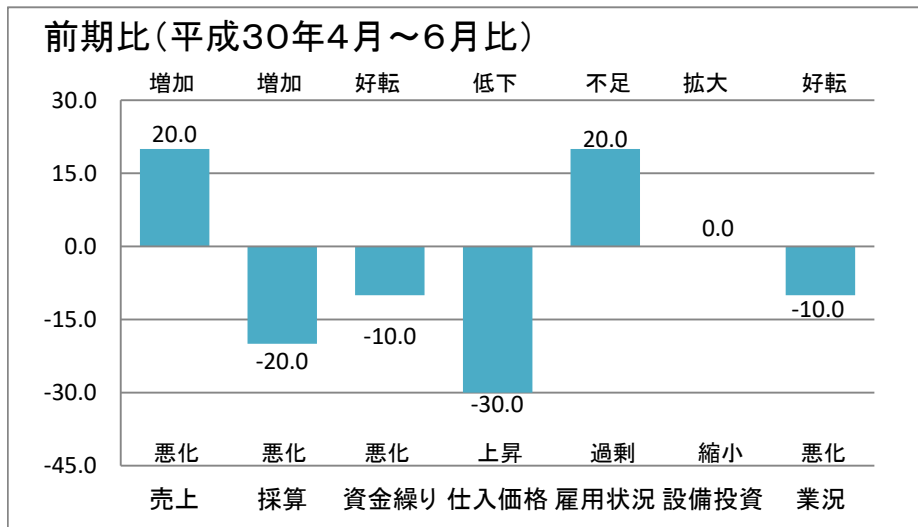
学校の空調の導入工事やオリンピックの影響で、工事の件数は増えているが対応可能企業の不足、人手不足で請け負えず、減収につながる回答が見られた。

人材不足の早期解決が急務であると考えられる。

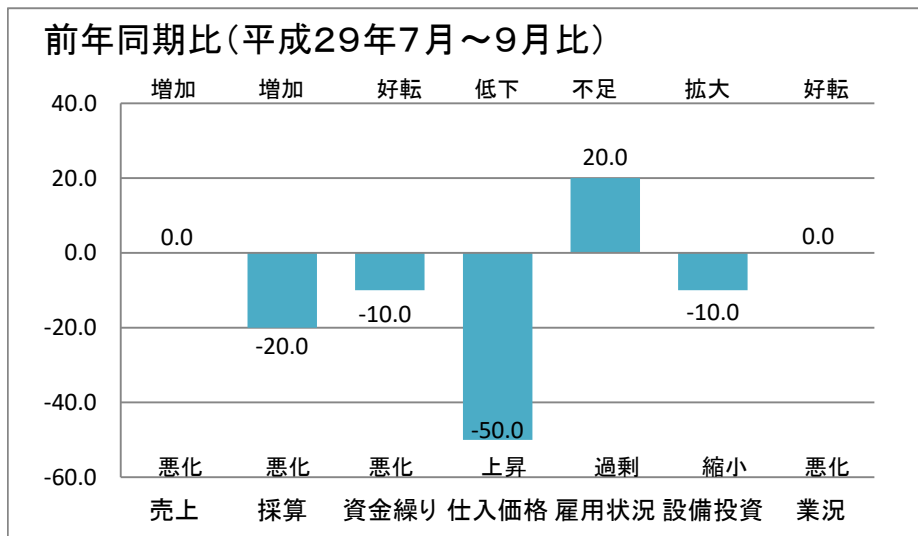


## 5. 業種別の景気動向

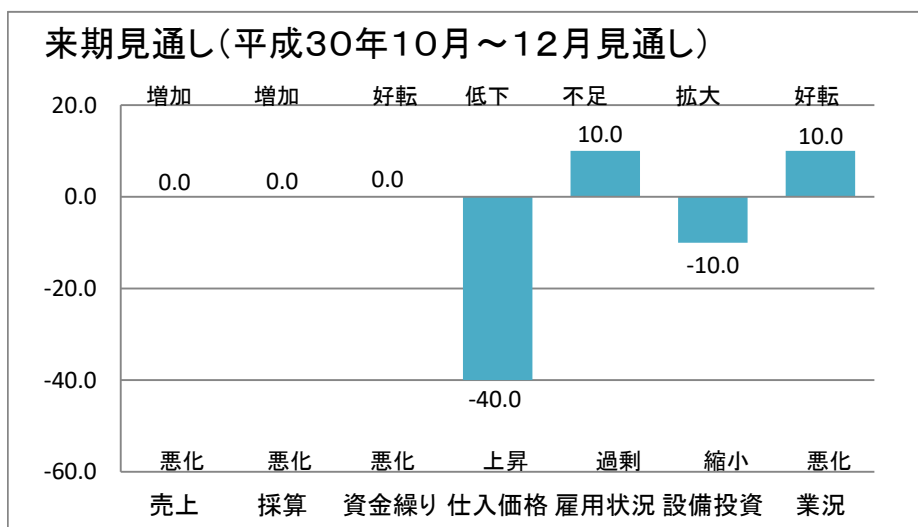
### (3)卸売業



売上DI値は増加しているが、その他のDI値は悪化しており、全体的に需要の低下が数値悪化につながったと考えられる。売上DIがプラスであるものの、台風等の自然災害による全国的な需要低下や商品の品不足によるものが要因として挙げられる。しかし、この時期の落ち込みが例年の動きとし樂觀視する事業所もあった。



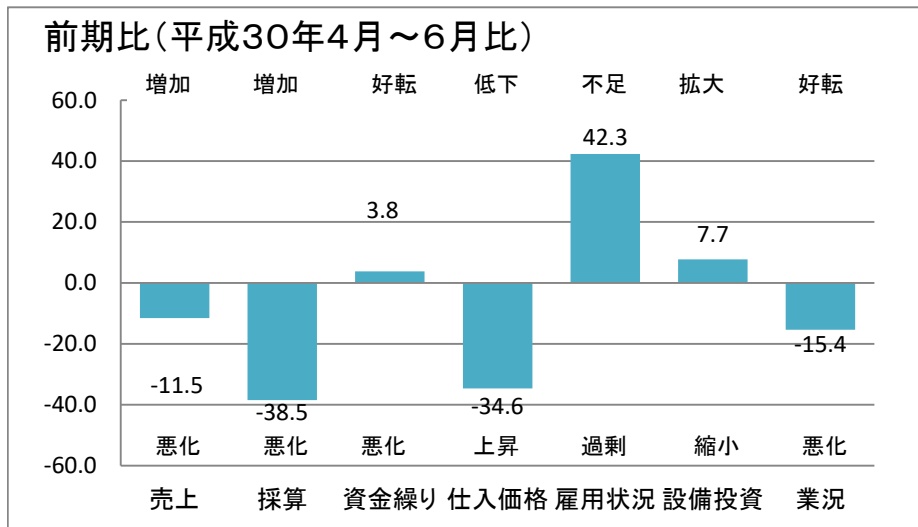
仕入価格DI値が顕著に突出しており、前年と比べ、大きく仕入価格が上昇していることがわかる。また、売上DIと業況DIより昨年からの変動はないものの、採算や資金繰りにおいて、事業所の置かれる経営環境は厳しい様子である。回答では、需要の低下や低価格指向、高齢化等、外的要因があげられ、全体的な値の悪化につながったと考えられる。



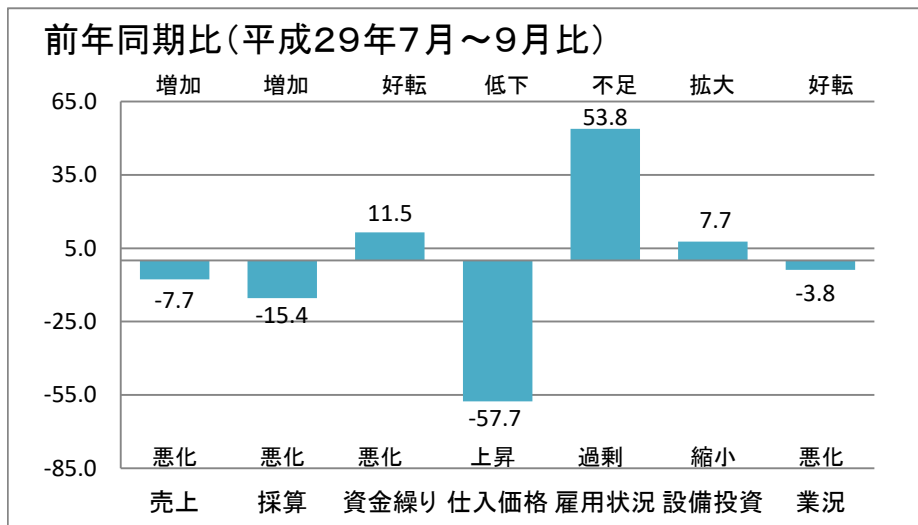
来期見通しにおいて、仕入価格の上昇(△40ポイント)が顕著に示しているものの、業況DIより好転を予想する事業所が多い。回答では、販路拡大や市場開拓など前向きな回答もみられた。製造業においても、年末の需要による好転を予想する声が多く、これからの動きに期待している様子である。

## 5. 業種別の景気動向

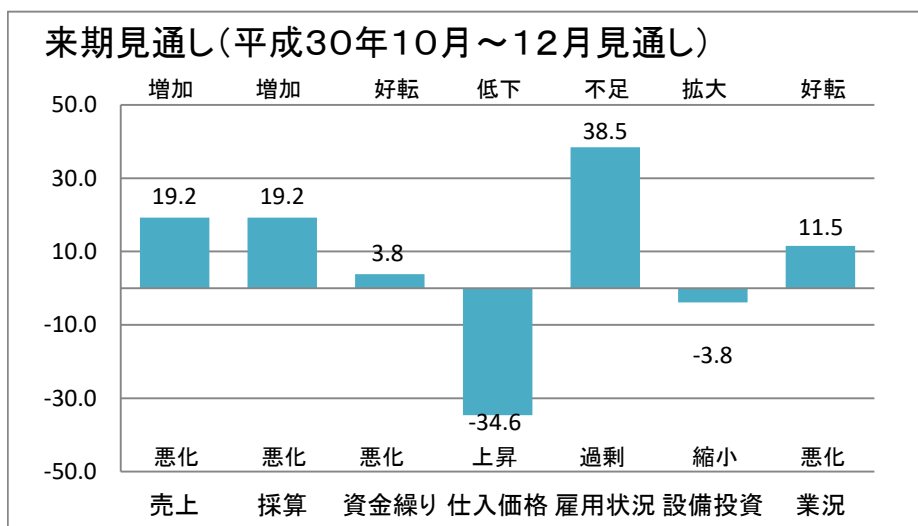
### (4) 小売業



季節的要因の影響をうける事業所が多く、その影響で仕入価格の上昇がおき、減益につながっているとの回答がみられた。  
また、労働者の高齢化という問題も影響としてでているとう回答もみられた。



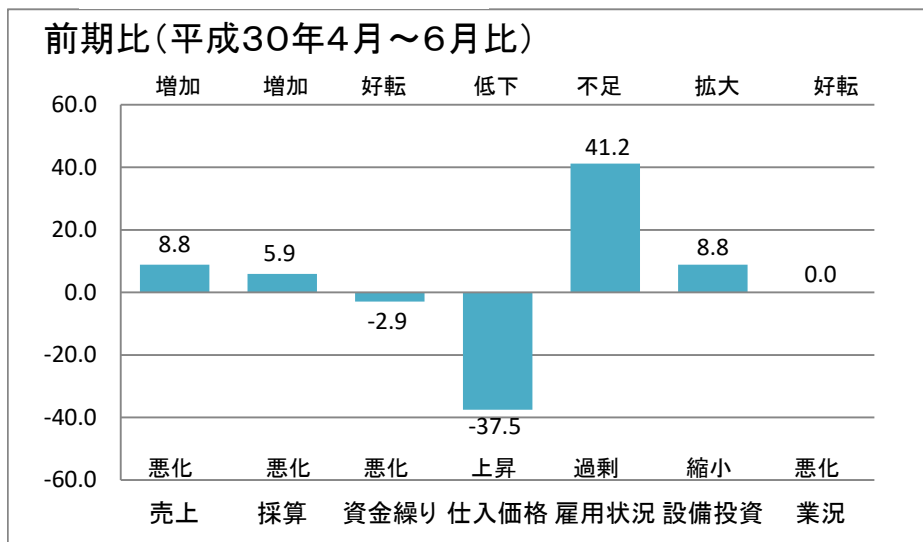
前年同期比を見ると、仕入価格DIと雇用状況DIにおいて50ポイント以上の悪化を示しており、厳しい経営環境がうかがわれる。  
市場規模の縮小や競合他社の影響からか、全体として悪化の値となっている。  
雇用状況と仕入価格の値の悪化が顕著であり、回答でも悪化理由として挙げられている。



来期見通しにおいては、依然として仕入価格の上昇や人手不足が予想されているものの、年末の需要による売上増加等のプラス要因がDI値の結果として表れた。  
現状維持や年末に向けての受注増が改善理由として挙げられており、数値としても改善値が多い。  
しかし、雇用状況DI値が示すとおり人手不足は深刻で、年末需要の対応の懸念材料である。

## 5. 業種別の景気動向

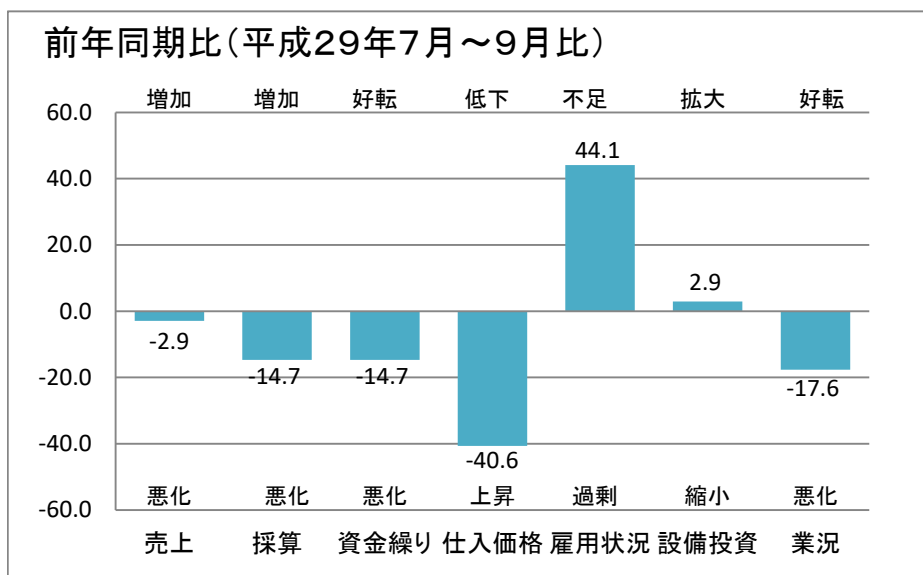
### (5) サービス業



DI値を見ると、売上DIと採算DIがわずかであるが、プラスに推移し、設備投資においてもプラスを示した。

業況の変動は見られないものの、天候不順が売上や業況に影響を与え、その影響により、資金繰りDI値が悪化を示した様子である。

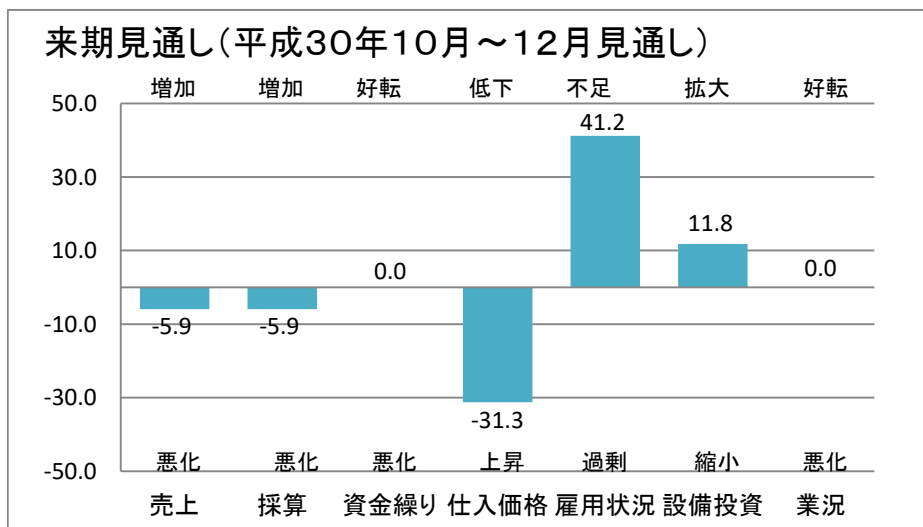
仕入価格DIのマイナス幅も大きく、加えて各事業所にとっては燃料費の高騰が続いており、薄利経営を余儀なくされているようである。



前年同期比を見ると、設備投資DIを除き、全体的に悪化を表す数値を示した。

雇用状況DI値の悪化が大きく、回答でも人手不足により、工事が請け負えない、お客様の対応ができないなどの声が挙げられている。

仕入価格の上昇、燃料費の高騰に加え、人件費の上昇に加え、自然災害の発生といった外部要因が重なり、厳しい経営状況を強いられている様子である。



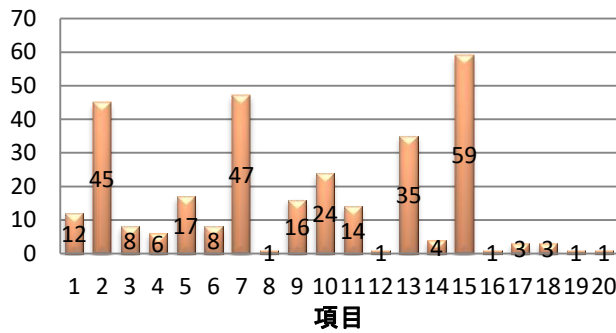
資金繰りDIと業況DIを見ると、今期と同等の水準を示す結果となったものの、仕入価格の上昇等により、採算の見込めない状況が続いている。

旅行業、ホテル業では繁忙期になるため、売上が見込めるとの回答がある一方、仕入価格の上昇が影響するとの回答もある。

また、人手不足が継続して売上や業況に影響をあたえるのではないかと懸念される。

## 6. 経営上の問題点

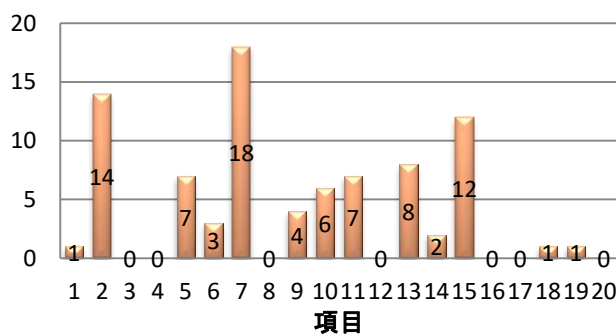
### 全業種



#### 順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 需要の停滞
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 人件費の増加

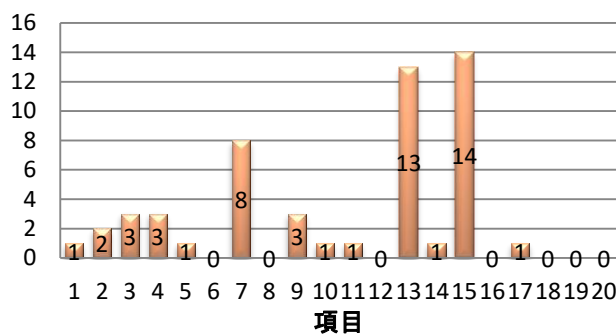
### 製造業



#### 順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 従業員の不足
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 生産設備の不足・老朽化

### 建設業



#### 順位

- 1位 従業員の不足
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 新規参入業者の増加

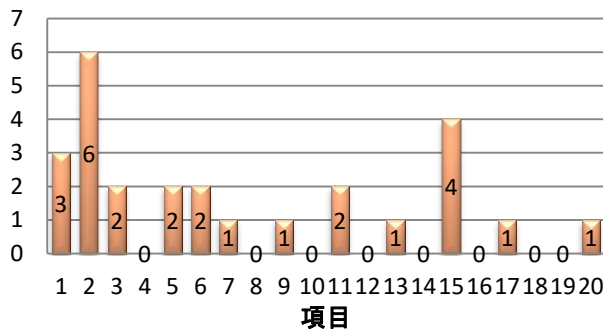
#### 項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
5. 生産設備の不足
7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
13. 熟練技術者(従業者)の不足
15. 従業員の不足
17. 商品在庫の過剰
19. 円高による海外製品との競争激化

2. 需要の停滞
4. 新規参入業者の増加
6. 製品ニーズの変化
8. 生産設備の過剰
10. 人件費の増加
12. 原材料の不足
14. 金利負担の増加
16. 事業資金の借入難
18. 取引条件の悪化
20. 代金回収の悪化

## 6. 経営上の問題点

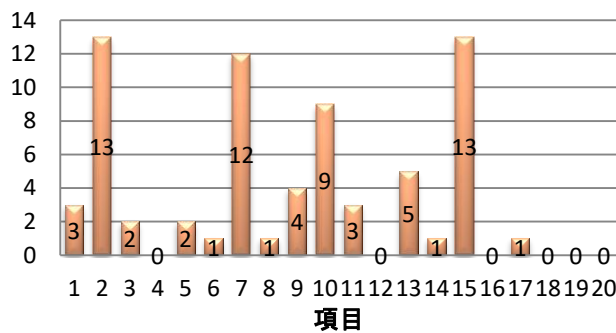
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 生産設備の不足・老朽化

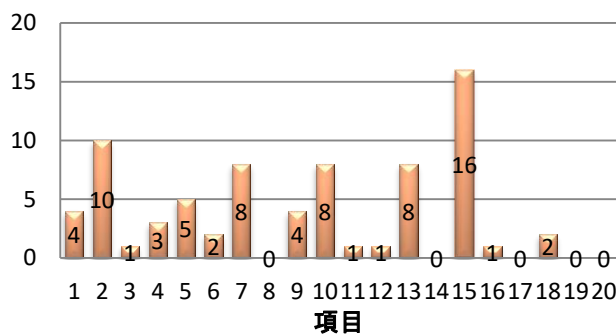
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 1位 従業員の不足
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 人件費の増加
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

### サービス業



#### 順位

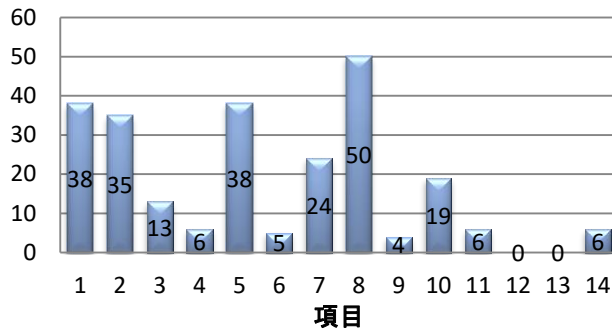
- 1位 従業員の不足
- 2位 需要の停滞
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 人件費の増加
- 3位 熟練技術者(従業者)の不足

#### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化  | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

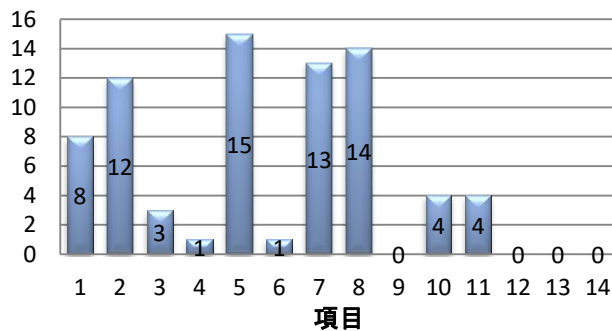
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 従業員を新規雇用したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 4位 生産性を向上させたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

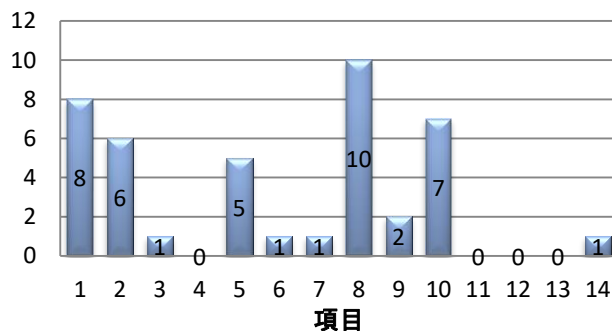
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 生産性を向上させたい
- 5位 従業員を新規雇用したい

建設業



順位

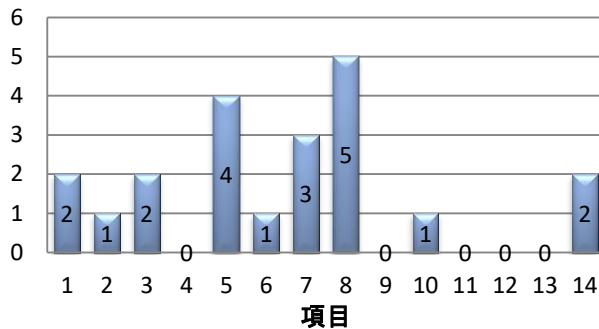
- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 従業員を新規雇用したい
- 3位 経営の多角化を行いたい
- 4位 生産性を向上させたい
- 5位 その他の合理化を実施したい

### 項目一覧

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |

## 7. 今後の対応策

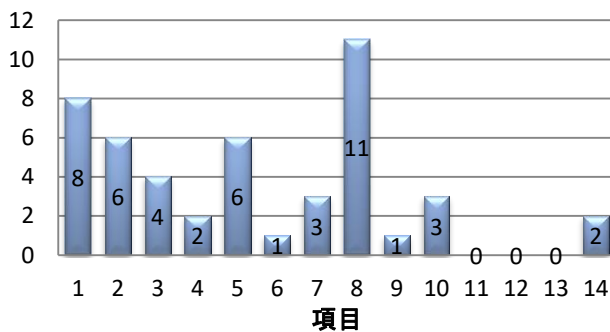
### 卸売業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 従業員を新規雇用したい
- 4位 人件費を削減したい

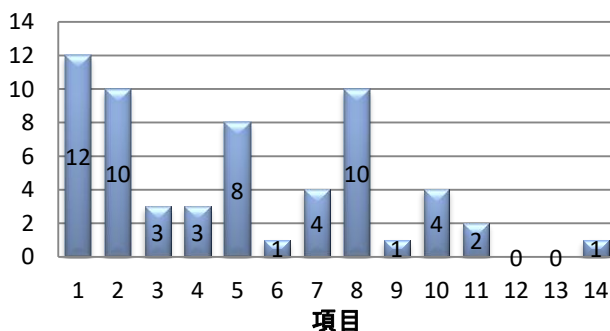
### 小売業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 従業員の新規雇用をしたい
- 3位 生産性を向上させたい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 5位 人件費を削減したい

### サービス業



#### 順位

- 1位 従業員を新規雇用したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

#### 項目一覧

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) |                     |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 8.新規市場を開拓したい                | 9.業種転換を行いたい         |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             | 13.海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
小売業	衣料品・食料品 他小売	宮崎	宮崎における個人消費は、活発なのかどうかを知りたい。
建設業	総合建設業	宮崎	従業員のベースアップに対する補助や優遇策を欲す。
サービス業	道路貨物運送業 他	宮崎	人材の確保(県外への流出防止)
小売業	弁当製造販売	宮崎	スポーツ大会(九州、全国大会レベル)を是非宮崎に誘致してほしい。
小売業	自動車販売及び 整備	宮崎	消費税の仕組みが複雑で負荷が大
小売業	酒類食料品小売 業	宮崎	軽減税率について不安しかない。
建設業	電気工事	延岡	景気対策ではありませんが、発注される工事に対して管理者など人材の不足を痛感しております。高校新卒求人競争倍率は高く新卒者の採用が困難な中で、地元へUターンされる求職者をあぶりだし、採用できる機会を設けてもらえるシステム作りはできないか？ということを考えています。(人材の不足対策として)



製造業	各種印刷	小林	各種税が高すぎる
小売業	記念品販売	小林	介護事業では人手不足であり、手厚い介護報酬の引き上げをしないと人材が集まらないと考える
小売業	事務機、事務用品販売	小林	地方にお金が回るしくみを考えて頂きたい
小売業	飲食業	西都	西都市の人口が減る事は時代的にも仕方がないと思う。市外から消費者を呼ぶ事は簡単な事でないが西都はとても魅力にあふれた街だと思うので西都の魅力をもっとアピールできる様に努力したいと思います。
小売業	飲食業	西都	市に言いたいこと、国保税が高いため自分が病院に行けません。国保税の中に資産の分まで払うことは、固定資産税と被るのでは？固定資産税も家が10年経っているのに一向に下がらない。高い税を払っているのに生活保護者はパチンコに行く。西都市は真面目に働く人のやる気をなくしている。
建設業	土木建築工事	都城	各種団体が独自に就職面談会を開催しているが来訪者の少なさが目立つ。連携して来訪者の多い、みのりのある就職面談会を開催して頂きたい。
製造業	アルミ製品製造業	都城	都城市発注の物件の下請に、宮崎市の業者が平気で入ってくる。また、現場も平気で発注している。市長の言われる「地産地消」はどうなっているのか。
サービス業	旅行業	都城	消費税10%アップにむけ、軽減税率やカード利用でのポイントなど中小企業を苦しめる結果にならないかと不安を感じます。
製造業	製材業	都城	高卒者の地元への就職を定着させること。また、大卒者のUターンの促し。
サービス業	貨物運送業	都城	諸改革による労働環境の変化へ対応が難しい。
小売業	総合小売業	都城	消費増税に伴う人的、経費的負担が大きい。シンプルな税制にしてほしい。

製造業	本格焼酎製造及び卸売	都城	今のところこれと言ったものはないが、何れ海外市場へ注力することとなるので、市場開拓等の支援策を充実して欲しい。
建設業	建設	日向	入札制度の見直し
建設業	土木建設	日南	労働力不足を感じる。技術労働者の育成の場が少ない。人件費を上げにくい。
サービス業	屋外広告物製作	日南	人口減、特に日南市内の現状、先行きに不安はあるものの、賃貸物件を新築する計画を進行中。過当競争の中で生き残りを図る。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道(日南～南郷～串間間)の早期工事着手を希望する。地方に予算を計上してもらい景気対策を望みたい。
小売業	LPガス販売	日南	人口減少を食い止めてもらいたい。
製造業	金属加工業	日南	貿易戦争の影響が業界に出なければというのが率直な意見。職人仕事である為、労働力不足による受注調整をどこまで行うか思案どころ。
サービス業	0	日南	東九州自動車道、清武～北郷間は2013年開通予定が5年も遅れ、いくら工事作業が難航したといっても、あまりにおそまつである。雇用、コスト削減、需要の喚起など等々、開通が遅れれば情報、人、金で引き離れてしまう。議員の発奮を願う
サービス業	0	日南	大学生のスポーツ合宿やインバウンドゲストへの優遇措置
サービス業	飲食業	日南	地域振興券
サービス業	屋外広告物製作	日南	先日発表された全国の時価評価でも下げ止まりが確認されました。銀行からの依頼もあり総額10億円程のプロジェクトを練っています。行政は頼りになりません。固定資産税でも安くなれば…。

建設業	土木建設業	日南	県南地域の活性化を推進する意味でも、未開通の東九州自動車道の早期事業を希望。県の発注工事についても、年間を通じ平準化を望む。
サービス業	ホテル	日南	交通機関の整備(特に高速道路)をお願いしたい。
卸売業	酒卸	日南	人口減少に歯止めをかけること！！
卸売業	青果卸	日南	セフティネットの増額はできないのでしょうか
小売業	LPガス販売	日南	人口減を止めてもらいたい(人口増は無理にしても)
製造業	金属加工業	日南	求職者に対して、求人募集企業が多いため倍率は上がっているが、田舎の中小企業ほど人手不足に直面している。中央に若年層が引っ張られ続けると、外国人労働者を検討せざるを得なくなる。
製造業	0	日南	この景気で消費税が10%になれば、多くの個人商店はもたない。
サービス業	0	日南	企業のメンバーが家族とはいえ、チームとして運営している。3等親の助成金が利用できないのはふに落ちない。
サービス業	飲食業	日南	補助金の使われ方と、その企業のあり方を含めて、本当に有効利用されているのか…疑問になります。利益が出ない商売が成り立つのか…
サービス業	環境整備	日南	人手不足 仕事はある、求人しているが若い人が集まらない。育成等の助成の範囲を広げてほしい。